



株式会社 富士試験機製作所

Fuji Testing Machine Corporation
〒142-0043 東京都品川区二葉2丁目12番8号
TEL: 03-5788-5155 (代表)
FAX: 03-5788-5157

事業内容	材料試験機の設計・製造、校正・点検・メンテナンス
設立	1951年 1月
資本金	10百万円
主要製品	ブリネル、ロックウェル、ビッカース、ショアー硬さ試験機 シャルピー式衝撃試験機、環状ばね型力計、ループセル力計 常温・高温用スラスト転動疲労試験機 FJシリーズ
役員	代表取締役会長 関 博司 代表取締役社長 矢端 知広
関連会社	株式会社アツマテクノス 富士工機株式会社 仁木工芸株式会社



<https://www.fujitest.co.jp>



株式会社 富士試験機製作所

Fuji Testing Machine Corporation

幅広いニーズに応える信頼と技術 高精度試験機で品質の未来を守る。

PRODUCTS



転動疲労試験機

新素材や工業材料の疲労寿命を試験します。試料に発生したピッチングやフレーキングを自動感知し、高温試験仕様での提供、回転速度を任意に設定することが可能です。



油圧式ブリネル硬さ試験機

鋳物、鋳造品、鍛造品、特殊鋼鋼材、レールなどの硬さ試験ができます。大型試料向け、全数試験向け、製造ライン向け製品をラインナップしています。



力計

試験機ユーザー様は試験力のチェックとして使用でき、校正事業者様は試験機の試験力の調整・校正で使用できます。小試験力から大試験力までさまざまな能力に対応します。



ビッカース硬さ試験機

金属材料や熱処理部品などに幅広く対応する硬さ試験機です。ラインナップにはマイクロビッカース、自動ビッカースを準備しています。



ロックウェル硬さ試験機

圧子によって作られた圧痕の深さの差から硬さを測定します。主に鍛造品や鋳物などでできた大型の試験片に対して使用します。高速試験と精度の高い試験力を実現しています。

WORKS

校正、調整、整備を行なっています

「圧縮」「曲げ」「硬さ」「衝撃」など、ものづくりのさまざまな段階で必要となる測定試験機器は、どんなに高品質な試験機を使っても、環境や使い方によっては測定値に誤差が生じ、製品の品質を保つことができません。そこで、定期的に校正を行なってその差を把握し、必要であれば、調整や整備を行ないます。弊社では、専門的な知識を持つ技術者が対応いたします。

Calibration

校正



試験機の動作や機能、精度を確認し、正しい値との誤差を測定します。試験機の値と標準機の値を比較して差異を測定し、正しい値を明らかにします。

Adjustment

調整



試験機の正確性の確認を行ない、正しい値を計測できるように調整する一連の作業です。

Maintenance

整備



校正によって調整が必要であると判断された場合は、修理などを行ない整備します。

一般校正とJCSS校正の違いとは？

自らが証明しなければならないものが一般校正（従来の校正）で、校正の能力（技術）を第三者が認めているものがJCSS校正となります。JCSS校正では、日本の国家計量標準へのトレーサビリティが確保され、かつ校正事業者の技術能力が高いことが証明されます。



その他にも

職人によって部品加工することも可能です

「試験機の部品が壊れてしまったが、部品のみの購入ができなくて困っている」などのご相談をよく受けます。弊社では、部品を製造・加工することも可能です。まずはお気軽にお問い合わせください。

移設据付ができます

工場・会社等の移転やレイアウト変更などで、据付の試験機の移設が必要になった場合も対応可能です。しっかり試験機のことを熟知した職人が行ないます。